発行：渋川地区広域市町村圏振興整備組合　総務課
構成市町村：渋川市・吉岡町・榛東村

広域だより

vol.84
2017.6.15

救助工作車ってなに？

5月9日、渋川北小学校4年生67名が社会科見学の一環として消防署を訪れました。児童たちは身近で見る救助工作車に興味津々で、職員の説明を熱心に聞いたあと質問をしたり、実際に資機材に触れたりしました。

なお、救助工作車の関連記事はP.4に掲載しています。

目次（主な内容）

・清掃センターからのお願い …… 2
・消防本部からのお知らせ …… 4
・組合の財政事情 …… 6
・プール開場について …… 7
・インフォメーション …… 8

清掃センターからのお願い

ペットボトルのラベルはがしにご協力ください!

ペットボトルの出し方は、今までキャップを外して水で洗い、リサイクルごみとして出してくださいとお願いしてきましたが、平成30年4月1日からキャップを外して水で洗い、「**ラベルをはがして**」リサイクルごみとして出すよう変更します。

リサイクルのさらなる推進のため、ペットボトルのラベルはがしにご協力をお願いします。

ペットボトルの出し方が変更となる理由は、リサイクルをしやすくするためです。使用済みペットボトルは衣類やプラスチック製品の材料などへ、リサイクルされていますが、そのためには、キャップ、ラベルなどペットボトル以外の素材を取り除く必要があります。

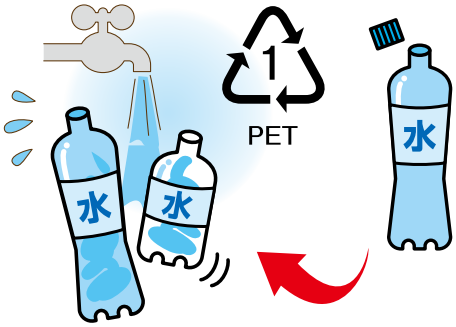
しかし、近年はペットボトルの軽量化が進みリサイクルを行う工場での分離が難しくなっており、ご家庭で分別することが大変重要となっています。

また、当組合では渋川広域圏リサイクルセンターでベール化（圧縮梱包）し公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ受け渡していますが、その際の「引き取り品質ガイドライン」（注）が変更になり、平成30年度からラベルが残っているものを含むベールは、引き取りの判断基準となる品質が悪いと判定されてしまうことになります。現在当組合のペットボトルのベール品の総合判定結果はA評価（非常に良い）を獲得しており、今後も高品質のベールの維持を目指していきます。

このようなことから、ペットボトルを資源ごみとして出す際は、ラベルをはがしていただきますようお願いします。平成29年度は周知期間となりますのでラベルの有無にかかわらず受入をします。平成30年度から正式に変更となりますが、リサイクル推進のため今年度から「**ラベルをはがす**」習慣を身につけていきましょう。

ラベルはがしが追加に!

従　来



ベールとは（写真右）

ペットボトルを圧縮梱包したもの。ベールにはA～D区分のランクがあります。

© (株) MD

（注）「引き取り品質ガイドライン」
市町村及び一部事務組合が公益社団法人日本容器包装リサイクル協会へペットボトルのベールを引き渡す際の目安です。

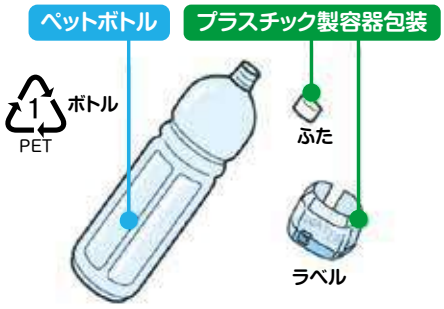
ラベルはがしに関するQ&A

Q-1 いつからラベルをはがすの?

A 現在ラベルはがしの周知期間であり、開始は平成30年度になります。開始前にラベルはがしの習慣を身につけましょう。

Q-2 なぜ、ペットボトルのラベルをはがすの?

A リサイクルしやすくするためです。ラベル同様キャップも外してください。ペットボトルは単一の素材で構成されており、リサイクルの優等生です。ペットボトルの再生には異物混入しないことが重要です。



Q-3 容易に分離可能なラベルってどんなラベル?

A-1

A-2

A-3

A-4

Q-4 はがしにくいラベルはどうすればいいの?

A はがしにくい場合は無理にはがさなくても良いです。分別はペットボトルで構いません。

絶対に混ぜないでください!!

1. ペットボトル以外の容器類
   1 PET 以外のプラスチックボトル
2. ペットボトルに異物を入れたものや加工したもの
3. 汚れたペットボトル

PETボトル以外の容器類

- トレー・卵パックなど
- 洗剤などに使用されていたもの
- PET以外のプラスチックボトル
- 食用油などに使用されていたもの

PETボトルに異物を入れたもの

- たばこなど異物が入っているもの
- 薬品入れなどに使用したもの
- 工作などに使用したもの

回収されたペットボトルは様々な工程を経て再生されております。
リサイクルされたペットボトルは身近な製品に形を変えて役立っています。

ペットボトルのリサイクルにご協力ください!

問い合わせ先　清掃センター　☎23−0460

のお知らせ

相馬原飛行場周辺消防施設設置助成事業を活用し救助工作車を更新しました

平成28年12月19日、渋川広域消防署に配備されている救助工作車を防衛省相馬原飛行場周辺消防施設設置助成事業（防衛省補助）を活用し、更新しました。この救助工作車は特別救助隊により運用され、交通事故や山岳事故等で使用する救助用資機材を積載しています。特別救助隊は、救助隊の装備に加え特別な装備を有し、人命救助について高度な教育を受けた隊員で編成されています。

装備品積載の一例

相馬原飛行場周辺消防施設設置助成事業（防衛省補助）とは

相馬原飛行場周辺地域の生活環境の整備について、公共事業の助成をすることにより、住民の生活の安定及び福祉の向上に寄与することを目的とした補助事業です。

PA連携（消防車の救急隊支援出動）について

「最近、消防車のサイレンがよく聞こえるけど火事が多く発生しているのかな？」と思われる方が多いのではないでしょうか。実は、消防車は火事だけではなく、救急活動現場にも出動しているからです。例えば救急現場に一番近い消防署の救急車が出動していた場合、隣接する消防署の救急車が到着するまでの間に消防隊（消防隊員も救急隊員の資格を有しています）が先に到着して心肺蘇生（そせい）処置などを行い、救命率及び住民サービスの向上を図っています。

【PA連携で出動するとき】

- **交通事故の場合**：高速道路や幹線道路などで事故現場の安全を確保するために出動します。
- **けがや病気の場合**：狭い場所やホテルなどの高い階で傷病者の搬出が困難な時に出動します。
- **その他**：救急車が別の場所へ出動中で、すぐに現場に到着できないときなどに消防車で出動して、救急車が到着するまでの間に応急手当等を行います。
- **サイレン**：消防車のサイレンで、鐘の音が鳴るのは、火災出動の時だけです。

消防本部から

熱中症を予防して楽しい夏を過ごしましょう

熱中症の発症が増加するシーズンが到来しました。昨年度、渋川広域管内の熱中症による救急搬送者は49人でした。そのうち41人が7月、8月に搬送されています。熱中症は気温が高いなどの環境下で体温調節の機能がうまく働かず体内に熱がこもってしまうことで起こります。特に子どもと高齢者は熱中症になりやすく重症化すると命にかかわる危険な状態です。

熱中症の正しい予防方法をお知らせします。

熱中症予防のポイント

①部屋の温度をこまめにチェック
②室温28℃を超えないようにエアコンや扇風機を上手に使う
③のどが渇かなくてもこまめに水分補給をする
④外出の際は体をしめつけない服装で、日よけ対策もする
⑤無理をせず、適度に休憩をとる
⑥日頃から栄養バランスの良い食事と体力作りを心がける

ミスホタルが一日消防長に

3月2日、宮田ほたるの里を守る会　ミスホタル諸田春風（もろだはるか）さんが渋川広域消防本部の一日消防長を務めました。

一日消防長の諸田さんは、消防本部から敷島温泉ユートピア赤城まで、消防車両から「火の用心」を呼びかけながら防火パレードを実施しました。

また、同駐車場において防火啓発用品を配布し、ここでも火災予防の重要性を呼びかけました。引き続き行われた火災想定訓練では、一日消防長の「放水始め。」のかけ声で一斉に放水を開始しました。

一日消防長行事は、毎年3月と11月の火災予防運動期間中に実施しているもので、地域住民の火災予防の意識を高め、併せて消防職員の士気高揚（こうよう）を図ることを目的としています。

消防職員意見発表会関東大会に出場

4月28日、群馬県前橋市で第40回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会が開催され、群馬県大会優秀賞の渋川広域消防本部・木暮亜由美消防副士長が開催地代表として出場し優良賞を受賞しました。

木暮消防副士長は入職6年目、消防行政に携わる輝く一人の女性として、後輩から目標とされる存在で、意見発表では、防災ネットワークの構築を熱く訴えました。

消防職員意見発表会は、業務に対する提言や取り組むべき課題等について発表し、消防業務の一層の知識の研鑽（けんさん）や意識の高揚（こうよう）を図ることを目的として開催されています。

水利調査の協力について

渋川広域消防署管内に設置されている防火水槽・消火栓の調査を、毎年6月上旬から実施しています。消火栓の調査実施時、バルブを開放する事があり住宅の水道水に濁りが生じる場合がありますが少しの間、水を出し続けることにより濁りは解消されますのでご理解とご協力をお願いします。

●問い合わせ先
渋川広域消防本部　警防課
☎25―4192

平成28年中（1月～12月）の火災及び救急件数

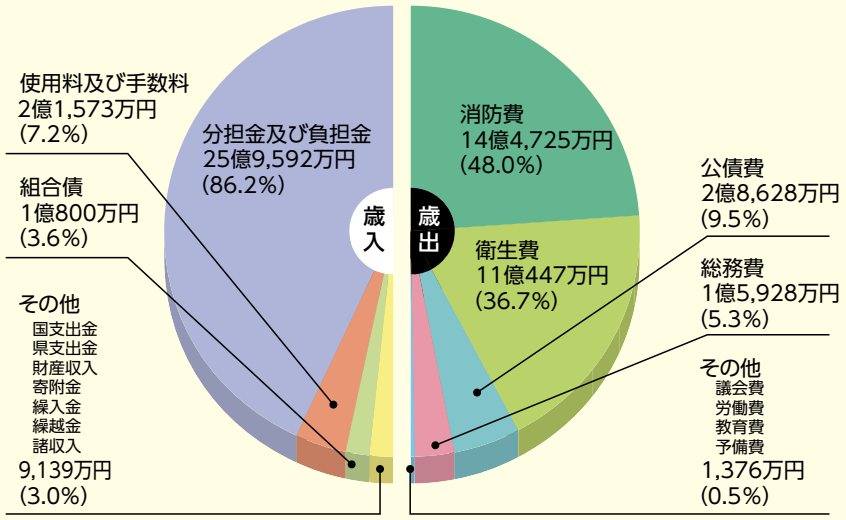
●火災 44件（前年比16件減）　●救急 5,269件（前年比72件減）

組合の財政事情

平成29年度当初予算

一般会計予算額は30億1,104万円で、前年度比較では、4,009万円の減となりました。
減額の主な理由は、消防費で通信指令棟改修工事の減によるものです。

平成29年度一般会計予算　30億1,104万円



一般会計当初予算区分の説明

歳入

- ●分担金及び負担金…組合を組織する渋川市、吉岡町、榛東村が負担するお金
- ●使用料及び手数料…事業所等から出される一般廃棄物のごみ処理手数料など
- ●国支出金…国から交付されるお金
- ●県支出金…県から交付されるお金
- ●財産収入…土地貸付料、送電線線下補償料、基金利子
- ●寄附金…寄附としておくられたお金
- ●繰入金…積み立てていた基金から繰り入れるお金
- ●繰越金…前年度から繰り越されるお金
- ●諸収入…預金利子や雑収入など
- ●組合債…国や金融機関などから借り入れるお金

歳出

- ●議会費…議会運営に使われるお金
- ●総務費…一般管理やふるさと市町村圏事業などに使われるお金
- ●衛生費…夜間急患診療所や火葬場・斎場、ごみ処理・し尿処理の施設に使われるお金
- ●労働費…職業訓練センターに使われるお金
- ●消防費…消防救急に使われるお金
- ●教育費…広域圏運動場に使われるお金
- ●公債費…借入金の返済に使われるお金

組合の借入金について

借入金の残高 26億4,672万円
(平成29年3月31日現在)

- ごみ処理施設　19億2,554万円
- 火葬場・斎場施設　5,290万円
- 消防施設・車両　6億6,828万円

平成29年度主要事業

●ふるさと市町村圏事業
渋川地区広域市町村圏が一体となった魅力あるふるさとづくりを行うための事業です。グリーンフラワー事業、広域イベント助成事業、広報事業などを実施し、圏域住民へのサービス向上をめざします。

●救急医療事業
圏域住民の常時診療体制を確立するため、在宅当番医制、歯科在宅当番医制、病院群輪番制及び夜間急患診療業務を引き続き実施します。

●火葬場・斎場事業
「渋川広域斎場しらゆり聖苑」では、さらなる住民サービスの向上を目指して、平成26年度より指定管理者制度を導入しています。

●ごみ処理事業
本年度も昨年度に引き続き、すべての祝日(年末年始及び土・日曜日を除く)のごみ受入を実施し、圏域住民へのサービス向上に努めます。また、容器包装リサイクル法に基づく、びん類及びペットボトルのリサイクルに努め、ごみ処理事業の充実を図ります。

●し尿処理事業
環境に配慮した施設の適正な運営及び維持管理を行います。

●消防救急事業
近年の救急業務の出場の増加及び高度化に対応するため、計画的な救急救命士の養成を行います。また、消防力の維持・充実・強化を図るため化学車の更新及びはしご車の分解整備を行います。

●教育関係事業
圏域住民の健全なリクリエーションの場として利用される、広域圏プールなどの運動施設の維持管理に努めます。

渋川地区広域圏プール開場について

●開場期間

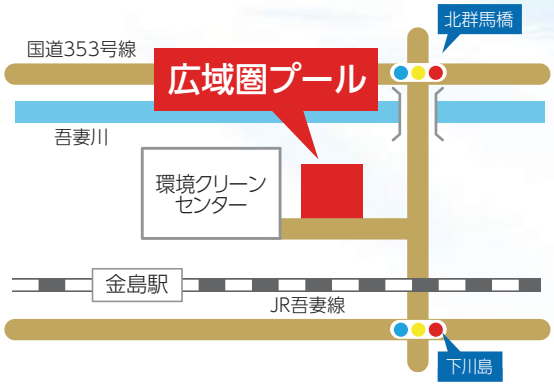
８月１日（火）から８月２４日（木）です。
ぜひご利用ください。（天候等により閉場あり）

施設名	使用区分	午前 午前10時から 午後0時30分	午後 午後１時から 午後4時30分
25mプール 幼児プール	大人	100円	100円
	小人	50円	50円

※小人とは小・中学生　※未就学児は無料

●入場券は、プールで販売しています。

広域圏プール　渋川市川島７６番地
☎２４－１８７５（開場期間中のみ）



平成28年度

情報公開・個人情報保護制度の実施状況

【情報公開制度とは】

広域組合が保有している行政情報について、皆さんが公開を求める権利を保障し、行政運営の公正性と透明性の向上を目的とした制度です。

【個人情報保護制度とは】

広域組合が保有する個人情報の取り扱い方法を定め、皆さんの個人情報を保護します。

また、自分の情報開示などを求める権利を保障し、開かれた広域行政の実現を図るための制度です。

【実施状況】

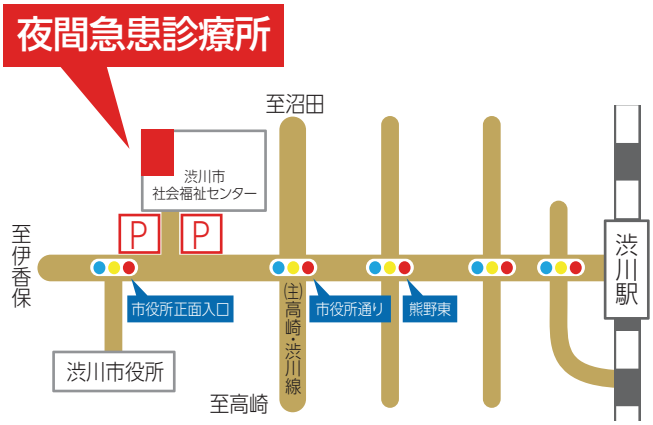
平成28年度中の情報公開の請求件数は、3件でした。

また、個人情報の開示請求件数は、2件でした。

夜間急患診療所をご利用ください

夜間急患診療所は、渋川市社会福祉センター（渋川ほっとプラザ）の1階にあります。夜間の急な発病や、けがをした時にご利用ください。

●診療時間　毎日午後7時から午後11時
●診療科目　初期診療:内科、小児科、外科
●住　　所　渋川市渋川1760番地1
●電話番号　☎23−8899



平成29年度　渋川地区広域市町村圏振興整備組合 職員採用試験のお知らせ

渋川地区広域市町村圏振興整備組合では、平成29年度職員採用試験を次のとおり予定しています。
なお、受験資格、試験日程、試験方法などの詳細につきましては、7月以降に組合ホームページ(http://www.sknet.or.jp/)及び各市町村広報紙で、お知らせします。

◆職種　一般行政職及び消防職

◆募集人員　一般行政職(技術職を含む)　若干人
消防職(救急救命士有資格者を含む) 5人程度

◆申込期間(予定)　平成29年8月上旬から

◆試験日程(予定)　第1次試験　平成29年9月中旬
第2次試験　平成29年10月中旬

◆採用時期　平成30年4月1日

●問い合わせ先
渋川地区広域市町村圏振興整備組合
事務局　総務課　☎60−5200(直通)
消防本部　総務課　☎25−4191(直通)

※各市町村広報紙への掲載予定は
渋川市　7月15日号
吉岡町　7月号
榛東村　7月号

普通救命講習会を開催

渋川広域消防本部では、心肺蘇生、自動体外式除細動器(AED)の使用方法などを学ぶ救命講習会を次のとおり開催します。受講される方は、当日動きやすい服装でお越しください。

● 実施日：平成29年9月9日(土)
午前9時〜12時
● 場所：渋川広域消防本部　2階会議室
(渋川市渋川1815−51)
● 受講料：無料
● 定員：30名 ※定員に達し次第、締め切りとなります。
● 対象者：渋川広域圏内在住、在勤、在学の方
● 申込期間：平成29年8月1日(火)〜25日(金)
(午前9時〜午後5時)

●申込み・問い合わせ先
渋川広域消防本部　警防課
☎25−4192(直通)

消防団員対象の普通救命講習会の様子

地域の皆さんの力が必要です

〜消防団員募集中〜

渋川広域圏の各市町村では、消防団への入団者を募集しています。
消防団は、自分の職業や学業を持ちながら、平常時には地域の防火・防災の担い手として、また、災害発生時には、消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとしての役割を担っています。平成29年4月1日現在、868名が消防団員として活躍しています。

○入団資格
広域圏内に居住、勤務又は在学している18歳以上の人ならば、男性でも女性でも入団できます。

○入団を希望される方の問い合わせ先

渋川市消防団
渋川市役所　防災安全課　☎22-2130

吉岡町消防団
吉岡町役場　町民生活課生活環境室　☎54-3111

榛東村消防団
榛東村役場　総務課　☎54-2211

火災テレフォンサービスについて

渋川広域管内の火災発生状況を知りたいときは、火災テレフォンサービス☎0180-99-2226へおかけください。

発行：渋川地区広域市町村圏振興整備組合　総務課
〒377-0007　渋川市石原 1434-1 (☎0279-60-5200)

【再生紙を使用しています】